

城取博幸の
京都のスーパーマーケット見聞録

NO128
2020年7月
城取フードサービス研究所

信濃国阿智、根羽村篇

1582年にはいろいろ事件が多かった

「武田家滅亡」「本能寺の変」「山崎の戦い」「清須会議」、それに「天正少年遣欧使節団出発」

武田信玄公終焉史跡「長岳寺」



正面の右の歌碑には

野田宇太郎の歌碑

「信玄は 兜のきんの 前飾り 一つのこして あとかたもなし」



入場料を払い中に入る

割菱(武田菱)の提灯



「道心」

道を修めようとする心

ことの善悪、正邪を判断し、正道を行おうとする心

正道 外道 非道

「一隅を照らす(一隅を照らす)」

今自分のいるところで、自分らしく最善をつくして生活すること

お金や財産は国の宝ではない

置かれてた場所で、明るく光り輝くことができる人こそ、貴い国の宝

境内案内



本堂ふすま

日本画家「吉川優氏」によるもの

春の間



夏の間



秋の間



冬の間



信玄に関するものは撮影禁止
中央に「信玄の兜の前立て」の写真
長岳寺に保管されている



ここで住職に質問
「武田滅亡」を調べた
織田軍に徹底抗戦したのは高遠城の「仁科盛重」のみ
高遠城の仁科盛信のことはブログで何度も触れた

(WIKIPEDIA より)

『信長公記』によれば、翌3月2日に織田軍30,000余は総攻撃を開始し、仁科盛信は譜代家老らとともに籠城し、織田軍と激闘を繰り広げた^[7]。織田方も岩倉家出身の織田信家が戦死するなど大きな被害を受けたが、数で勝る織田軍に城門を突破されるに及び、ついに仁科盛信・小山田昌成・大学助らは戦死し、高遠城は落城した^[8]。

武田勢がことごとく逃亡する中で、徹底抗戦を貫き、武田武士の力を見せつけたのはこの仁科盛信だけであった。盛信の首のない遺体は彼を崇める地元の領民によって埋葬され、そこは今も「五郎山」と呼ばれている。

さらに

興味があるのは以下の部分

31月11日に武田家滅亡

「3月14日、浪合(長野県下伊那郡阿智村)に進出していた信長に、勝頼、信勝親子の首が届いた)」とある

武田三代の首が浪合(阿智村)に届いたことになる

満足した信長、信忠も、同年6月2日に事件が起こる

「どこに届いたのか？」

「信長はそこが信玄終焉の地であることを知っていて、浪合のどこで勝頼の首を待っていたのか？」

それとも偶然か

住職にそのことを聞くと

「諸説あり」

「そ、そうですね」と答えるしかない

武田宗家の終焉



信長は、勝頼自刃の時には信濃国境すら越えておらず美濃国の岩村城に滞在していた。

唯一、田中城の依田信蕃だけは抵抗を続けていたが、穴山梅雪の勧告もあって開城した。この時、徳川家康は彼を家臣に誘ったが、「勝頼の安否が分かるまでは仕えられない」と言われ断られた。

3月14日、浪合（長野県下伊那郡阿智村）に進出していた信長の元に勝頼・信勝父子の首が届いた。同日、依田信蕃は本拠の春日城に帰還している。その後、

屋外には

「NHK で放映された武田信玄公と当寺の関係」



武田信玄公灰塚供養塔



野田城攻めの最中に病が重くなり、4月12日、信州伊那の里駒場の山中で落命
信玄没400年祭に火葬塚より灰を移し供養塔とした



長岳寺前住職 山本慈昭翁像



中国残留孤児の訪日調査を行い、残留婦人、孤児の肉親捜しに生涯をささげた



「満蒙開拓団供養地蔵」
中には「新田次郎の碑(藤原ていさんの夫)」



信玄の「のろし台」

雨に為行けず またの機会に



史跡 信玄塚



坂の上の建物



信玄塚の由来

「武田信玄は、三河国野田城(愛知県新城市)攻略中に肺肝を患い、甲州国に引き返す途中、天正元年(1573年)4月12日、53歳にて、ここ「ねばね」の上村において他界された(甲陽軍旗より) その折、「風林火山」の旗を横にしたのでこの地を「横旗」という」

* 信玄が亡くなった9年後、織田勢がこの地を通り武田征伐に向かう
集会所のようだ



奥に信玄の塚 同じ文章だ「長岳寺」は信玄を火葬した場所



信玄公らしき堀ももの



「神武天皇の碑」なぜ？

7月からコンサルも平常に戻るため、初旬を利用して京都に行ってきます
 観光客も少なくホテルも安い絶好のタイミング

NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」

今は中断しているが、「本能寺の変」はなぜ起きたのか調べてみたいと思う



京都のスーパーマーケット見聞録

[京都から福知山城](#)

2020-07-01 17:00:10

京都にいます

ブログも毎日更新します

日本でも外国でもやっていることは同じ

観光地を巡り、スーパーで食材を買って料理する

観光客も少なく落ち着いているいろいろな所を回れる



JR梅小路西口近くのキッチン付きのサービスアパートメント

インバウンドの需要を狙った宿泊施設なので客が少ない
数日間は一棟独占



ロビー コーヒー、紅茶などのホット飲料を24時間無料で提供している

ベッドルーム

ツインルームであるため広く使える



キッチンには蓋ができるようになっている
電子レンジ、冷蔵庫、電磁調理器、シンク、換気扇がついている
食器が少ないのが残念
バスルームは広め 洗い場がついている



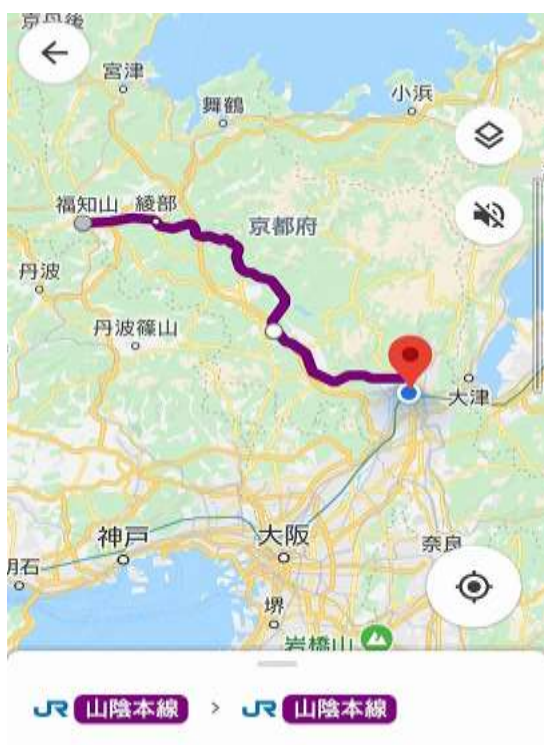
京都市中央卸売市場第一市場はすぐ近く

市場の食堂がすぐ近くにある
昔ながらの魚市場
新しい市場を建築中



まぐろの解体 昭和の市場だ

翌日JRで福知山に向かう
日は少し前後するが、先に福知山城から紹介します
京都から特急で約1時間半ほど



山陰本線特急「はしだて」
白一色の車両



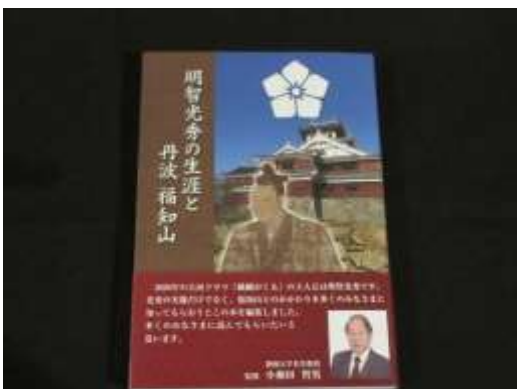
こんな景色がいくつも続く
5~6カ所はあった

福知山駅

福知山の人口は約7万7千人



駅の隣の観光案内所え情報収集
観光パンフレットと本を買う



駅前の道を歩く
さとうグループのスーパーマーケット「フレッシュ、バザール」
帰りに寄る予定だ

福知山城が見えてくる

破風がこちらを向いているため、城の正面



福知山光秀ミュージアム



「麒麟がくる」の光秀と駒 駒は架空の人物だが絵になる

中は撮影禁止

パンフレット



坂を歩き天主に向かう

紫の花が

「城壁の光と影を知る桔梗」

と書かれている



明智光秀の家紋は「桔梗」

桔梗は今は絶滅危惧種

満開の丁度いい時期に来られた

バランスの取れた可憐な花びら

桔梗の根は「生薬」としても使われている

代表的な漢方処方に「桔梗湯」がある

駒さんが光秀にこっそり教えたかな(そんな事実はないが)

光秀は医者知識もあった



天主は鉄筋コンクリートで復元されたもの

少し不自然な形をした城

天正7年(1579年)、明智光秀がこの地に城を築いた
由良川に伸びる丘陵に築城された平山城



天主から見た景色



この城の石垣に特徴がある



「福知山城 石垣の転用石」



天主の石垣は「野面積み」「乱石積み」

五輪塔、石仏、石臼、灯籠などの「転用石」が500個余り確認されている
大和郡山城にも見られる

銅門番所



他から移築されたもの
3層4階の城



転用石

うまく組み合わせられている



梵字のようなものも見える

裏口 ここから城に入る



福知山城

「福知山城は天正年間、明智光秀の縄張りと言われ、慶長年間にいたり近世城郭として完成されました」

福知山城天守閣復元鯨瓦

当時の鯨瓦を復元したもの



豊盤井



井戸の深さは50m

城郭本丸内の井戸としては日本一の深さ
海拔43mであるため、海面下7mまでの深さ
裏の門からの景色



朽木氏の家紋「隅立て四つ目結(すみたてよつめゆ)瓦
1669年～1871年まで、200年13代福知山藩主を務めた
福知山付近の地図
山また山



福知山城の付近
明智光秀の肖像画 岸和田市、本徳治所蔵



木彫りの像
福知山城のジオラマ



中の様子
甲冑、刀、鉄砲



転用石
入口付近の休憩所のビデオ



寄贈(平成28年3月)
「株式会社 さとう 創業350周年記念」と書かれている

お城の内堀



隣の商業施設

今回は、「フレッシュ・バザール さとう」と「ゴム焼きそば」を紹介します

[福知山のスーパー「フレッシュバザール」と「ゴム焼きそば」](#)

2020-07-02 19:26:18

テーマ：[ブログ](#)

今日は「安土城」に行って来ました

帰りが遅くなったためブログのアップも遅くなってしまった

「武田氏滅亡の地」⇒「福知山城」⇒「亀山城」⇒「本能寺跡」⇒「光秀の首塚」⇒「安土城」の順でレポートします

スーパーマーケットの視察、料理とけっこう忙しい

福知山の「明智藪」

明智光秀がつくった堤防

由良川の氾濫を防ぐために造られた堤防



川の奥の中州に藪があり、野鳥の営巣地になっている

蛇ヶ端御藪(明智藪)

由良川と土師川の合流地点は水害が多かったため、500m。幅10~30mの堤防を築いた本能寺の変後、光秀が坂本城に向かう途中命を落とした、京都山科の小栗栖の竹やぶも「明智藪」と呼ばれている



振り返ると奥に洋館が見える

「足立音衛門本店」

歴史ある焼き菓子の店



道沿いが店舗

歴史がありそうな佇まい



店内

常温、チルド、冷凍の3温度帯で販売する焼菓子

栗ソフトクリーム

これがいい



外の休憩所でいただく

栗がデカくおいしい

旧商店街を通り駅に向かう



「フレッシュ バザール」

株式会社さとう、株式会社さとうフレッシュフロンティア

京都府福知山市東野町1番地

創業は1666年(寛文6年)

連結売上高939億円(2020年2月現在)

北近畿最大の総合流通サービス企業(京都府、兵庫県、大阪府、福井県)

ショッピングセンター、スーパーマーケット、ホームセンター、レストラン、宅配スーパーなど77
店舗を展開

ニチリウグループ



玄関を見ればその家の様子が分かる

駐車場の真ん中に歩道

カート置き場と緑色の歩道

普通は駐車台数を多く確保したいため、こうした歩道を駐車場にはつくらない

車道と歩道を分けることで事故が減る



入口のコロナ対策

アルコールの他に、買物籠、ショッピングカートの殺菌に使えるウェットティッシュも

除菌済み買物籠

買い物籠を高さを揃えてキッチンと並べられている

家でいえば「靴がキッチンと揃えられている」と同じだ

買物をして買い物籠を入口に戻そうとすると、レジ係が「こちらでお預かりいたします」と

たぶんレジ係が殺菌をして入口に並べるのであろう

籠を色分けしてしている企業とは全く考え方が違う



350年の歴史(正確には354年)

古着屋からスタートしている

「お客様の幸せと豊かなくらしのために全力を尽くします」

350年も会社が続くのは理由がある

たぶん長く続く「家訓」があるのであろう

「すべてはお客様の幸せと豊かな暮らしのための」という考え方

店内

たぶん見なくてもわかる

オーソドックスなローカルスーパーの売場だが、商品づくり、陳列がキチンとしている

「奇をてらった」販促やPOPもない

目先の利益だけを追わない、原理原則(プリンシプル)が見える

「順道制勝」(勝ち負けだけにこだわっていると、遠くにある大なるものが見えなくなる)

講道館「加納治五郎」の言葉

基本がしっかりしている

354年の歴史ある「小売博物館」のようだ

社長は館長、スタッフは学芸員 いいものを見せていただいた

ありがとうございました 買物をして駅に向かう



駅前で気になった店



「ゴム焼きそば」 650円
福知山のB級グルメらしい

前を通りかかると店主が「閉店」の札を出すところ
一旦2時に閉店するらしい
すでに鉄板に火は落としているが
「テイクアウトでよいから」とお願いする
また鉄板に火を入れわざわざ作ってくれた
感謝、感謝
「ゴム焼きそば」を使えるのは5件だけらしい



茶色い色をした焼きそばの上にトマトソースがかかっている
昔懐かしい「蒸し焼きそば」に今風のトマトソース
かんすいを小麦粉に混ぜて蒸すと麺は茶色になる
前に紹介した伊那の「ローメン」も同じ蒸し中華麺を使っている
中国発祥で戦後日本各地に広がった
店主に話を聞くと

フレッシュ バザールで購入した商品
チルド「おはなはん お好み焼」 2人前



セット内容

卵を入れるようになっているが、準備がない



仕方なく液体の衣を加えてそのまま焼く
卵がなくても一応できた
添付のソースと青のりをトッピング
フワフワ感はないが、モチモチ感はある



カップはボール代わりに、ゴミ入れにもなり便利

「ゴム焼きそば」はスーパーでは売られていない
惣菜売場にもない
5社が独占しているようだ
似たような焼きそばを購入



野菜がない
仕方なくチキンサラダを使う



レタス、ソフトチキンを炒める
「レタス焼きそば」の出来上がり
レタスでも焼きそばはできる



キッチンが蓋をすれば上が有効に使える
電子連レンジ対応のチルド「酢豚」と「鶏つくね」
セブンプレミアムの「麻婆丼の具」は常温保存だ
こうした商品が増えている



チルド「野菜フライ」
練製品をパン粉を付けて揚げたもの
たまに食べるとおいしい
チルド「大豆ミートを加えた茄子の肉みそあん」
今は茄子が旬でおいしい
肉みそがたっぷり



常温「たまごパン」
卵たっぷり、着色料は使っていない
時間が経っても硬くならない

常温「肉パン」
豚まんの具がパンの中に入っている



常温「水無月」 1パック
米粉を使った餅の上にあずき餡、寒天を載せたもの
くずの上に餡を載せたものもある
ポリドリンク
昔懐かしい味



会計 2435円
次回は同じく明智光秀が建てた「丹波亀山城」を紹介します
亀山城は2つある
光秀が兵を連れて京都に向かう最後の城
「本能寺」に向けて出兵した城

亀岡の「丹波亀山城」

2020-07-03 17:04:38

京都駅からJR山陰本線で亀岡駅に向かう
福知山から京都に向かう途中駅だが
疲れていたため翌日出直す



亀岡駅の銅像「石田梅岩」(1685年～1744年)

人の心、人間の本質を追求し、儒教、仏教、道教の説を取り入れ、
庶民の日常生活の中で道徳の実践を解いて「心学として大成」



「商人は1銭、1銭の積み重ね」の意味が書かれている

亀岡駅



前の道を森に向かい進む

左にはイオン、右に西友が見える
イオンは何かヨーロッパの古城のようだ



明智光秀像



奥が亀山城外堀

何か新しいな



亀山城天主の図



外堀には蓮が
大きな蓮の花が咲いている



亀山城は宗教団体「大本」が管理している

ここでチケットを買う



案内図

明智光秀が設計した天主の写真

丹波亀山城は、1577年(天正5年)頃、織田信長の命を受けた明智光秀が丹波攻略の拠点として築城した

300年余り続いた丹波亀山城も明治初頭の「廃城令」を受け、石垣は鉄道の線路の敷石に使われたりした

「大本」の教祖 出口王仁三郎師が亀山城跡を買取り復元

昭和10年の「大本事件」で政府によりダイナマイトで完全に破壊された

その後、再建された

* 写真を見る限り、派手な破風のないシンプルな中国にあるような城

信長の安土城も建築中であったため、質素な造りになったかも

光秀は設計はしたが完成を見ていない



見学順路



ここはかつての内堀跡



復元された城石垣

大名たちが残した天下普請の刻印



少し広めの場所

ここから明智光秀が本能寺に向けて出発したと言われている

本来は、信長の命令で、備中高松で戦っている羽柴秀吉の援軍であったが、「敵は本能寺」と方向を変えた

一万余の軍勢は、6月1日夜9時ごろ亀谷城を出て早朝に本能寺に着いている

グーグルで亀山城から本能寺までの現在の道を歩けば6時間35分

今も直線で歩くことはできない

もし同じ道であるとすれば

光秀は秀吉支援のため、高槻方面に向かわなければならないはずだが

沓掛(くつかけ)今は高速道路と交わる地点で光秀は、

「備中出陣の軍装を信長の検閲に供するために入京する」と全軍に偽りの軍令を発したという

明智軍はやがて桂川西岸に集結し軍装を整え、二日早朝「敵は本能寺にあり」

との光秀の号令で、京都四条西洞院の「本能寺」に殺到した



もし同じ道を通ったとすれば

京都に向けて左折した地区の拡大図

京都市内へはほぼ中間地点

善峰寺 京都府西京区

京都市内、比叡山を一望できる場所

創建年 1029年(長元2年)

亀山城の戻る

二の門

突き当り左に何かある



江戸時代以前からあった井戸跡の石組

復元された天主石垣

下の部分の三分の一は光秀公築城当時のものだという「穴太積み」が残されている



大きな石の間に小さな石をはめ込む積み方

「敵が石垣を登ろうと、小さな石に手をかけると外れて転倒するようになっている」という



石垣の上にそびえる大銀杏

右奥は何？



歴史のある銀杏 亀岡の銘木

光秀公の手植えの銀杏と伝えられているが、江戸中期に台風で倒れ
後継ぎに若木を植えたとの記録が残る



「円宮宝座」



城跡に植えられている松

どれを見ても縦に裂けている

クレーンで作業しているスタッフに聞いてみると

「これは薬害」だという

どういう意味か

松くい虫対策で木に薬剤を注入すれば、このように裂けてくるという



こんな花を見ながら亀山城を後にする

亀岡駅前のイオン



古いGMSであるためか元気がない

別寅のかまぼこ

関西では歴史のあるかまぼこ屋

お菓子のように食べられるため、かまぼこのスナッキング



みざん 山椒の実の醤油煮

自宅でも山椒の実を冷凍保存してあるため、味の参考にしようと思っている

大坂鶴橋 徳山冷麺

本場の味



あまざけ(ストレート、ポーチ味)

西友

ここも駅前



店内

魚屋、惣菜などのテナントもある

えだまめチーかま

枝豆の香りがする



駅前商店街

イオンと西友の為か商店街が寂しい

どこの地域も同じだが

心学の道 石田梅岩

「損得より善悪」のような内容が書かれている



駅前に飲食店が少ない

ネット調べると有名店は駅から遠い

イオンの隣の中華料理店へ

「感謝の気持ちで商い中」



「冷し中華」と「スープ餃子」なぜこの組み合わせにしてしまったのか自分でも理解に苦しむ
若者向けの店なのか味が濃い 缶詰のミカンの上にチェリー
この組み合わせがノスタルジーを感じる



中華風スープ餃子 熱いスープと冷たい麺を交互に食べると歯にしみる
片方を片付けてからにした

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」のポスター

リタイア組の夫婦をよく見かける 外国人が少ないこともありゆっくりと見学できた



今、京都は穴場観光地

今回は、「本能寺跡」「南蛮時跡」をレポートし

「本能寺跡」「南蛮時跡」「光秀首塚」

2020-07-05 16:51:28

九州が大雨で大変になっている

「コロナ禍」の次は「大雨災」

何が起こるか分からないです

命は自分自身で守るしかない

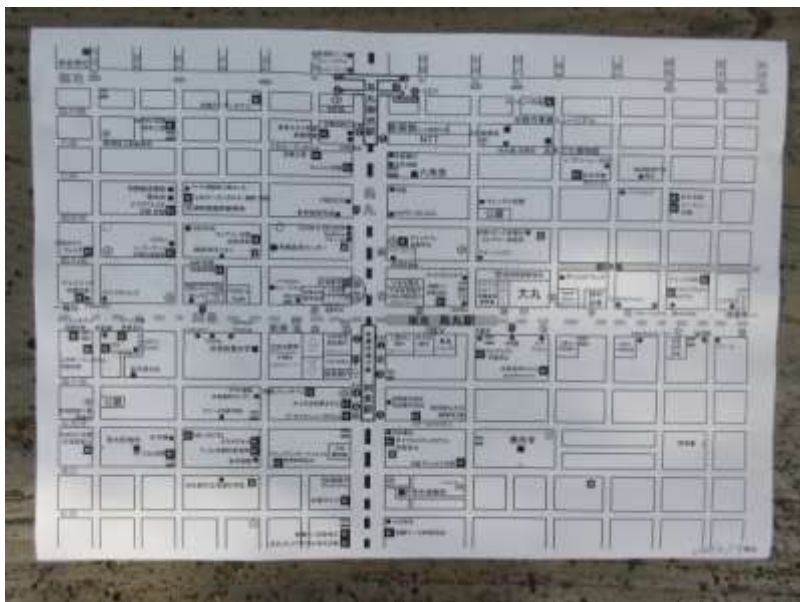
「南蛮寺跡」～「本能寺跡」～「光秀首塚」の順に歩く

明智光秀の句

「時(土岐)は今、天が下知(したし)る五月哉」

「この五月、今こそ土岐氏出身の自分が天下に下知するとき」という思いからか

地下の観光案内所で地図をもらう



地下鉄「四条駅」の22番出口を出て、烏丸通りを烏丸御池方面に向かう



左にディーン&デルーカ



アメリカの店は倒産したが日本法人は営業を継続している
蛸焼師通りを左に曲がる



細い通りを進む
鎖帷子(くさりかたびら)か
衣料品屋さんのマネキンであった



位置的にはこのへんだが これではない

その裏に



この付近 南蛮寺跡



織田信長の時代に、耶蘇会(イエズズ会)によって建てられ、京都におけるキリスト教と南蛮文化の中心となった

戦国末期、京都でのキリスト教布教は、永禄二年(1559年)から本格化し1561年にこの付近に礼拝堂が設けられた

1582年の「本能寺の変」の詳細を宣教師フロイスは「日本史」に書き本国に送っている

しかし5年後の天正十五年(1587年)6月、九州遠征を終えた豊臣秀吉は「宣教師追放令」を発した

キリスト教の弾圧に転じ、南蛮時も都の時に破壊された

その後この地に復興されることはなかった



「バテレン禁止令」天正15年(1587年) 6月19日

1. キリスト教が拡大し、「一向一揆」のような反乱を恐れた
2. キリスト教徒が、神道、仏教を迫害し始めた
3. ポルトガル人が日本人を奴隷として売買していたことをやめさせるため
4. 秀吉が有馬の女性を連れてくるよう命じた際、女性たちはキリシタンであることを理由に拒否したため

* 1582年は「天正少年遣欧使節団」がローマに向けて出発した年でもある

右下が千々石ミゲル(2015年7月に天草訪問)



その中の一人「千々石(ちぢわ)ミゲル」は、「ポルトガル リスボンで日本人奴隷を見た」と証言している

帰国後にキリスト教への不信を持ち放教

何が欲しくて奴隷売買が行われたか

貧しい農民が対象になったが、目的は金だけではない

鉄砲が伝わったが、それに使う火薬(硝石)が日本にはなかった(後に国産化)

戦国時代鉄砲本体は大量生産できたが火薬が不足していた

火薬1樽に対し、奴隷50人の説もある

長崎県平戸市浦松資料博物館に展示されている

秀吉直筆の「バテレン禁止令」(2015年7月訪問)

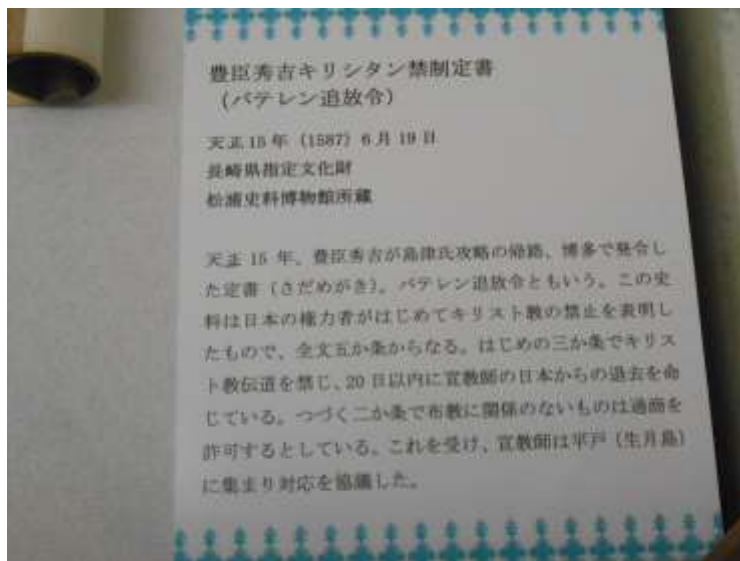


天正15年 6月19日

キリスト教伝道を禁止し、20日以内に宣教師の日本からの退去を命令している

布教に関係のない者は通称を許可する

信長がバテレンを優遇した理由を安土城跡で見つけることができた



6月19日は「アメリカ奴隷解放記念日」でもある
ちなみに私の誕生日でもある
どうでもいいことだが



南蛮時跡から本能寺跡に向かう
徒歩5分



通りを進むと道の左側に記念碑が
これだけ？



この付近 本能寺跡

どうにも説明できない たぶんここで引き返す観光客も多いと思う
裏側



さらに道を進んで左に曲がると左側に
本能寺跡の石碑



本能寺の焼失の歴史が書かれている

「是非に及ばず」仕方がないの意味

1582年の「本能寺の変」で焼失

「能」の字の「ヒ」「ヒ」は変形文字になっている

信長の宿泊施設であったため、住職は追い出され寺は改装されていた

* 私の考えだが、信長の骨が見つからないこと、女性達が逃げられたことから

井戸か地下に逃げ道があったのではないかと思う

信長の黒人側近「弥助」が信長の首を南蛮時まで運んだという説もある

南蛮時は治外法権

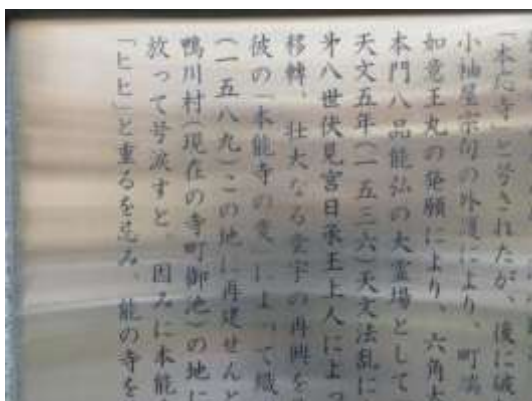
弥助は後に光秀軍に捕らえられたが、

「光秀は黒人奴隷は人間にあらず」と釈放した



1589年、この地に再建をせんと棟上げ式当日

秀吉の命令で中止させ、鴨川村(現在の寺町御池)に本能寺は移された



本能校跡の石碑

現在の建物



本能寺跡の説明

後に子の信孝がここに「信長廟」を建てようとしたが、秀吉の中止命令でここに本能寺が建つことはなかった

* 秀吉は火事が多かったことを嫌ったのであろう

烏丸通りに戻る



ここは眼鏡屋さん

「光秀の首塚」
地下鉄で東山へ



川を渡り右側に回る
川沿いを歩く



のどかだ
和菓子所「餅虎」



定休日であった
残念

そこを左折すると奥に緑が見える



「光秀首塚」

移転しているため小さい

13日に山崎の戦いで敗れ、坂本城に戻る途中「小栗栖(伏見区)」の竹やぶ(明智藪)で重傷を負い自害

首は18日には栗田口で重臣と共に晒された

その後他の場所に明智公の塚が建てられたがここに移転

光秀の塚は3つある

- ・明智塚 明智光秀の胴塚(首塚ではなく胴塚)
- ・首塚 明智明神(この場所)
- ・首塚 盛林寺



石塔



ここにも桔梗の花
本堂



内部



「明智光秀の生涯と丹波福知山」によると

「武田征伐で浪合(阿智村)で武田勝頼の首を受け取った信長は、その首を足で蹴った」と書かれている

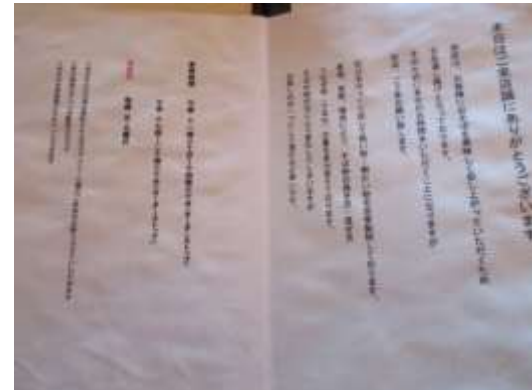
そこに居た明智光秀はそれを見ていたという
信長の無礼に耐え切れなかったのも原因である
川沿いを歩き駅に戻る
川につかえ棒を立てて木を支えている
東京では考えられない



駅近くの通り 甘味屋 持ち帰り専門



そば屋に入る 内部の風景



手打ちそばの説明

メニュー

おろしそばと煮物を注文



出てきた

九条ネギと大根おろし、鰹節、刻み海苔

そばつゆが多い

かつお節はいらないような気がしたが、最後のそば湯に入れるとおいしい



まず何もつけず

わさびはそばにつける

粗目と細か目の2種類のそば粉を使っているため独特の食感

香りもいい



煮物

単品ごとうまく煮られている

大根とかぼちゃは煮る期間が違う

烏丸御池で下車して「八百一」に向かう



野菜が売りの高級食料品店

今回はここの3階の農園とレストランを紹介します

歴史物のブログは時間がかかる

[京都「八百一本館」とレストラン「SAVORY」](#)

2020-07-06 15:59:55

京都「八百一本館」

京都市下京区七条西八反田町8番地

営業時間 10時～21時 定休日 火曜日

企業理念：「お客様に役立ち社会から必要とされる企業であること

仕事を通じて心豊かな人間性が高められること」

創業：1974年(株セントラルフルーツ設立)



店舗入口右側の井戸
中を覗くと滾々と水が湧き出ている



災害時に誰でも利用できる生活用水
野菜売場



ベーカリー売場横のイトイン

インバウンド客が少ないためか夕方はガラガラ
お弁当の広告



3階の「八百一の郷 六角農場」

ここを見ておきたかった
都会のど真ん中の農場
人は少なくこの景色を独占



しっかり手の入った農場
周りには木が植えられて通路がある

九条ねぎとリバーブ



ハーブ類バジルとイタリアンパセリ



口の字型の歩道を進むと
奥の木製の箱は？
開けてみると腐葉土をつくっている



隣の小屋はたぶんミツバチの巣かも
今は使われていないようだ土はフワフワのようだ
水を撒く配管が走っている



何の野菜か分らないが、黄色い花が咲いている

温室 奥にプチトマトが見える
水耕栽培だ



畑の脇には小川が流れている
農地を再現している

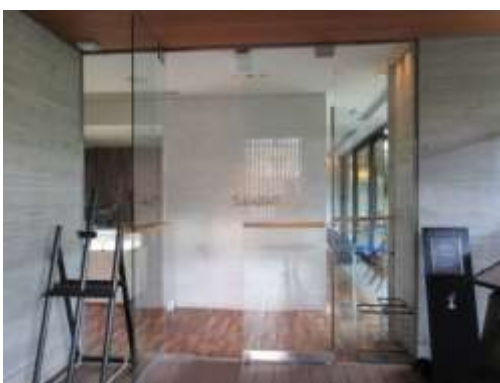
柿がなっている



農場の隣のレストラン デイナーは5時半～
ベンチで15分程待つ

「SAVORY(セイボリー)

意味は、味のよい、風味ある、食欲をそそる、香りがよい、気持ちよい、楽しい
「サボリ」かと思った



メニュー

本日のセイボリー定食 2900円

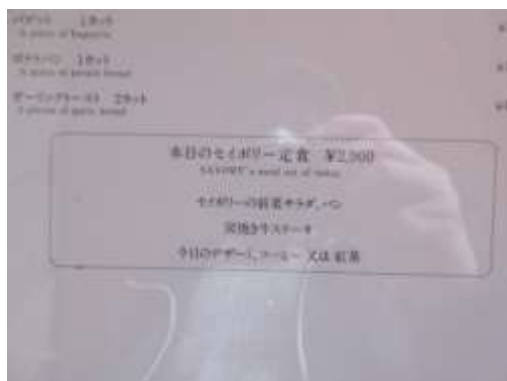
セイボリーの前菜サラダ、パン、炭焼きステーキ、今日のデザート、コーヒーまたは紅茶

「ランチメニューですか？」と尋ねると

「終日です」と答える

京都の町はインバウンド客が少ないため、ホテルもレストランが安い

これを注文する予定だ



眺めのいいテーブルに案内してくれた

丸茄子と白茄子が食べごろのようだ

「あの茄子は食べられませんか？」と指さすと

「農場スタッフが帰りましたから、私たちは収穫できないんです～」

「です～」と語尾を伸ばす場合はだいたい否定が多い

無茶なことを言う一元客だと思ったに違いない



その代わり朝収穫した野菜を見せてくれた

ルバーブ、白茄子、丸茄子

「お勧めは？」

「白茄子を炭火焼いたらおいしいです 半割で500円です」

「それをお願いします」



セイボリー定食2900円を注文
パンにバターを塗る木製の台がオシャレ

セイボリー前菜サラダ
上にはハーブの香りがする泡



ポイル海老が3尾
下はトマトとルバーブ？ベースのドレッシング



海老の加熱状態もいい

殻を全部接ぎ、背ワタを取り丁寧な仕事をしている

炭火焼きの白茄子

左上の4種のソースは焼き茄子用

右2種はステーキソース用

やはり味噌や醤油の発酵系のソースとよく合う



6月は茄子が旬

ナイフを入れると茄子のジュースが流れ出てくる

加熱された茄子のうま味成分は、

椎茸のうま味と同じ「グアニル酸」であることが発見された(ガッテン2020年6月10日放送)

今の時期の茄子は最高においしい

これは正解だった



炭焼きステーキ

オクラか甘唐辛子のソースと、焼いた万願寺甘唐がらしをトッピング



下の茄子は、皮が固いことから、たぶん「米ナス」



ステーキは肩ロースなのか食感がしっかりしている
香辛料のパンチはないが、ヘルシーなやさしいステーキをいただいた

デザートとコーヒー
香り高いコーヒー
八百一のオリジナルブレンドだという



イチゴのジェラートとイチゴソース

味が濃い

ご馳走様でした

頑張ってください

今京都観光は本当に穴場です



下のスーパーの鴨茄子 298円



丸茄子150円 米ナス 100円



惣菜は5時を過ぎていたため品薄になっていた

何品か購入してホテルに戻る正面はディーン&デルーカ、右の路地を進めば南蛮と本能寺跡 バス乗場のポスター



購入商品

「熊本産 カットスイカ」 498円

398円のものもあったが、498円の物の方がボリュームがあり断然お得
カットも大きく甘い さすがフルーツ屋さんのスイカだ



栃木産にキュウリ 3本198円

隣に太いキュウリもあったが「モロキュウ」で食べるため、細く柔らかいものにした

750年余の歴史「紀州金山寺味噌」 360円

安い価格の金山寺味噌もあったが、750年の歴史に魅かれた



中に大豆と瓜の古漬けが入っている
完璧な発酵食品
モロキューは正解だった

「鮒寿し」 1780円

鮒(ふな)寿しは滋賀県の郷土料理
滋賀県蒲生郡「鮒味 ふなちか」製造
飯と塩で漬けた「塾(なれ)寿し」
高額だがこれは食べておかないと



京都伏見の日本酒と一緒に
上手に漬けられているため発酵臭はそれほどきつくない
塩味もそれほど強くない 頭まで食べられる
ビニールの下に飯、その上にキレイに並べてある
魚売場の年配のスタッフに「醤油を少し垂らした方がおいしいの？」と聞くと
「面倒なことはしないほうがいい」と
うれしそうに酒を飲むジェスチャーをする 「完全発酵食品」であるということだ
余計なものはいらない その通りであった



魚そーめん「清流」 454円

魚肉練り製品でつくったそーめん状のもの(タレ付き)

原材料はたら、ぐち、はも、デンプン



添付のタレをつけて食べる
シャキシャキとした食感
麺に味のある贅沢な商品だ

「牛ごぼう」 312円

惣菜売場のチルド商品



「牛肉きんぴら」などの名前で、関西地方でよく売られている惣菜
牛蒡と牛肉の組み合わせは間違いない

チルド コーンスープ」 594円

とうもろこしの乳酸発酵食品

スーパーマーケットでは売れない価格

冷製スープで飲んだがとても甘味があった



「ビーガンホットケーキ」 2枚入り(シロップ付き) 1パック 214円
米粉を使ったビーガンホットケーキ
グルテンが少ないためザラついた食感

タマヤパン「チーズロール」 4本入 1袋 259円
ロールパンにチーズを載せて焼いたもの



リベイクするとさらにおいしい
「アードーナツ」 1個 189円
あんパンを油で揚げたような商品
秋田県大館市「山口製菓店」の商品



あずき餡(こし餡)がたっぷり入っている
油で揚げることで保存性を高めたのであろう

「かわちブッセ コーヒー」 1個 162円

大阪府八尾市「パティスリーイグレッグオガワ」の商品

原材料は卵、砂糖、小麦粉、バター、コーンスターチ クリームの量が多い



「水無月 抹茶味」 2枚入 1パック 281円

くず粉を使った水菓子 大阪府門真市「幸月」製造



抹茶の葛餅の上に小豆餡を載せたもの 冷して食べるとおいしい

「プロヴァメル オーガニック チョコレート味」 250ml 1本238円

オーガニック豆乳 チョコレート味



リンクスで紹介したパックよりパックが大きい

「京都 コーラ」 1本 135円

お土産に持って帰る人もいるかも



合計5674円

私は普段の買い物は出来ないが、旅先としてはおもしろい商品が多かった
惣菜をもう少し買いたかったが、夕方であったため品物が殆どなかった
イトインスペースがあるため、前はインバウンド客は多かったと思う

次回は、スーパー「フレスコ」と「錦市場」をレポートします

何度も言うが、今京都観光は絶好のチャンス

「そうだ 京都へ行こう！！」です

[京都「錦市場」とスーパー「フレスコ」](#)

2020-07-08 17:02:35

九州、岐阜、長野では大変な被害が起きています

亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りいたします

何が起きるか分からない

自分の身は自分で守るしかない

マスコミは「数十年に一度の………」というがいつの事か教えてほしい

ビートたけしが怒った

ビートたけし、国会議員のボーナス満額支給に激怒…「ボーナス返せ、この野郎！ふざけんな」

2020年6月7日 8時14分 スポーツ報知

社会



国会議員のボーナス支給にたけしは「国会議員にボーナス返せよ、この野郎！」と激怒した。4月に議員歳費2割削減を決めたが「なんだ給料が2割でボーナスが満額だっていうんだよ。ふざけんなってんだよ」と憤りをあらわにしていた。



一部の国会議員が騒いだけ
野党の皆さん頑張ってくださいと言いたい
今からでもボーナス返上提起をしてほしい

江戸時代、江戸末期に起きた出来事

「打ちこわし」と「百姓一揆」

時代が大きく変わる時には天災や凶作も多かった

島崎藤村の「夜明け前」にも「打ちこわし」や「百姓一揆」について書かれている

「打ちこわし」は、

江戸時代の民衆運動。富者は私欲を自制し、飢饉や災害が発生した時は率先して施米を行って弱者を救うべし

領主の悪政と結びついたとされる特権商人や村役人の家屋などを破壊する行為のこと
都市部では悪徳商人が米を買い占め価格を高騰させたこともあった

「百姓一揆」は、

農民が領主・代官の悪政や過重な年貢(税)に対して集団で反抗した運動
時代劇で見るとような暴力的ではなく、紳士的で、窃盗団や盗賊ではなかった
現在の抗議運動やデモに近いものであったようだ

時代は繰り返す

自分たちの主義、主張をする時だ

京都錦市場

平安時代から続く魚市場

京都御所に魚を納めるなど1300年の歴史がある

最近では観光客や修学旅行が訪れる観光名所



東西390m、幅3.2m~5m 130店が出店

今は「食べ歩き禁止」だ

柱を使わない建築方法



観光客は少なく殆どが地元客で寂しい

昔ながらの魚屋の戸板販売

食べやすくカットされラップ包装された「はも寿司」「鰻寿司」「さば寿司」

寿司のスナッキングだ 後で、と思っている間に忘れてしまった



「活はも落とし(はもの湯引き)」 600円

はもはこれから旬を迎える

ここも魚屋 魚惣菜を売る店



たこ玉子 300円

錦市場の名物商品だ 他の店も売っているがここで購入

近江牛にぎり

肉屋は少ないが近江牛専門の寿司屋

いいアイデアだ



サーロイン2貫1320円 上カルビ2貫1100円 サーロイン、上カルビ各一貫1210円

甘味屋は在庫が殆どない

串団子もスナッキングだ



豆乳クリームコロッケ
これも名物商品だが
惣菜屋の金時豆
これはよく売れている



うどん屋「富美家」



お腹が空いていれば、ここは入ってもいいな
ここも魚屋



「活はも焼き ハーフ 350円」を買う

食べ歩き禁止
ここで酒や飲料を注文すれば買ったものを食べられる



一人だけで寂しい

店の隣に井戸が見える

この辺は井戸水が豊富であったため、魚市場ができたのだ

サイダー、たこ、はもの湯引き、はもの蒲焼

サイダーが甘くて料理と合わない



冷酒を注文

仕切り直し



はもの湯引きはスーパーで売っている冷チルのものと同じ

「活はもの湯引き」600円にすればよかった



串を刺して煮だこのスナッキング
イイダコの頭の部分はうずらの卵
味はおせち料理に入っている冷凍茹でだこと同じ
それでも柔らかく煮てある



「活はも蒲焼」
脂は少ないが香ばしさが特徴
うなぎ程期待してはいけない
焼き栗



100円出して1個買う
タダでいいというが、食べれば結局買うことになってしまうから
もう少し硬い方が私は好きだ

スヌーピー風饅頭



ダージーパイ 1枚 500円

台湾のフライドチキン

手前の好みのスパイスで食べる

塩尻、松本名物の「山賊焼」のようなもの

岡山産 天然大うなぎ蒲焼 1尾4400円



ここで商店街はここで終わり

先は行き止まり



錦天満宮

市場の東端にお宮

学業、商売繁盛の御利益がある

お参りをして、西の入口に戻る



そごう近くの酒屋の国産ウイスキー

竹鶴 ブレンデド 5500円 竹鶴 12年 38000円

竹鶴 17年 58000円 竹鶴 21年 88000円

竹鶴 25年 200000円



竹鶴 35年 880000円

値段は付いていないが売り物だという

フレスコ烏丸店

京都府中央区烏丸通り 24 時間営業

会社名「株式会社ハートフレンドスーパーフレスコ」

1987年3月3日 設立

年商 578億円(2020年2月期)

京都市内に30店ほどある

経営理念「私たちに何が出来るか？ 毎日がドキドキ、ワクワク

どうすれば「もっともっといいお店」ができるのか？」

私たちの「夢」は「世界最高のスーパーマーケット」です



細長い店舗で、奥が生鮮食品売場

ヨーロッパのカルフルエクスプレスやREWE CITYのような都市型小型店
惣菜を強化している



「氷温熟成鶏」

珍しいので買ってみた

POPには「指定飼料工場より供給された飼料でひな鳥から加工までの一貫生産された鶏」と書かれている

常温に戻し、塩コショウだけの味付け



皮目を下にして中火で7~8分程加熱

皮が縮まないよう蓋で押す

かなり水分が出るのでペーパータオルでふき取る



裏返し蓋をして蒸し焼き

皮はパリパリに仕上がった

鶏もも肉



鶏ムネ肉

焼いている間水分がよく出る

チルド肉と冷凍肉の間のような感じだ

鶏臭さや嫌な臭いは一切しない

もも肉は遠くでうま味と熟成のほろ苦さを少し感じる

ムネ鶏はチルド肉との味の違いはあまり感じなかった

鶏肉の味の比較は難しい

「鶏三昧弁当」 1パック 398円

これはどんなものか楽しみ



ランチボックストレーがおもしろい 蓋が組み合わせるようになっている

鶏ご飯、鶏竜田揚げ、チキンボール、玉子焼き

チキンボールはあまりタレがかかっていないため薄味で食べやすい

確かにこれは名物だ



「昔のコロッケ」 3個 130円

フレスコ名物コロッケ

3個130円は安い

昔からこの値段で頑張ってきているのであろう

脂が甘いのはラードで揚げているかも

昔懐かしいコロッケ これは病みつきになる味
惣菜はまだ買いたい商品がいっぱいあったが、またの機会に



梅がゆ

無菌パックご飯もこの包材を使ってほしい



京都伏見の月桂冠カップ

鮎ずしと一緒に

錦市場は、観光客で賑わっているうちは繁盛していたが、インバウンド客が少ないため元気がない

こんな暇な時に新メニューを開発してほしい

次回は、ついに「安土城」をレポートします

安土「安土城天主 信長の館」

2020-07-09 17:09:14

京都から東京に戻り、仕事の打ち合わせを行い

少しずつ仕事も元に戻りつつある

再び信州へ疎開

美濃(岐阜県)、信濃(長野県)も大雨による被害が出ている

それだけでなく、地震が続いているのが心配だ

庭の紫陽花(アジサイ)



紺碧の花がキレイに咲いている

JR安土駅前の「織田信長像」



安土城はこんな城であった



「あづちマリエート」

フランス語で「調和、結びつき」の「マリエ」と、「創造」の「クリエート」の造語
スポーツ、イベントなどの多目的ホール

「安土城天主 信長の館」

～復元された1579年の城の天主(5階～6階) 信長の館は安土市が運営



信長の館入口 信長、秀吉、家康の兜



案内パンフレット

他の城は「天守」と書くが、信長は「天主」と書かせた
安土城だけが唯一「天主」になっている
「神になろうとした男」



建物も立派だが、光秀が考えた家康接待料理メニューも見てみたい

信長年表



安土城のレプリカ正面

5階6階部分が展示されている

天主の下は拭き抜けになっていて信長が能を舞うステージもあった

戦いを前提にした城ではなく、観賞用の城であった



これは裏側？

スタッフに「どちらが正面」かと聞くと

入口がある方が正面(安土駅側)だという

すなわち安土駅側からの景色は入口があるこちらのはずだ

それは後で説明する



横から見た城(正面の右側)

360度どこから見ても立派な城である

巨石を運ぶ絵

店主付近には大きな石が使われている



安土城の天守閣(ここは天守になっている)

天正4年(1576年)より3年の歳月を費やして完成

本能寺の変の戦火によりわずか7年で焼失

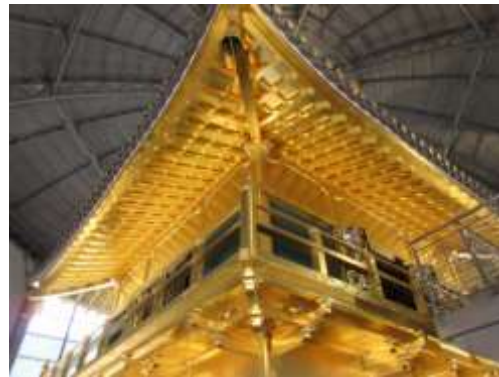
復元図を基にほぼ実物大で復元した

1992年、スペイン王国セビリヤ市で開催された万国博覧会の日本館で展示された

終了後、大和ハウスの尽力により、安土市に移築



5階部分は「仏教色」が強い建物
竜(昇り竜、下り竜)の柱と仏様などの仏教絵



6階部分
復元に使われていた金箔は4kgだという

階段で2階へ向かう
道教、儒教色の強い内部
入口は手前と奥の二カ所のような
なぜ入口を二カ所つくったか？



奥の出入口

壁には「嘉納永徳」の障壁画



金と天然石の彫り物 天井



鯨鉾

餐応膳 天正10年 安土御献立

私の専門は「食」であるためこれは参考になった

1582年(天正10年)5月、織田信長が明智光秀に餐応(接待役)を命じ、
武田勝頼討伐に功を成した徳川家康や穴山梅雪を安土城でもてなした時の餐応メニューを
復元して展示



**光秀はやり過ぎてしまった
料理が豪華すぎてしまった**

今に例えれば、県知事に国賓級の料理を出したようなもの
信長は「魚が腐っていた」などのクレームをつけ蹴とばし、光秀を解任し秀吉の備中征伐の応援に向かわせた
こうしたことが光秀の遺恨を生んだ
半月後に「本能寺の変」が起きる



光秀の教養の高さ

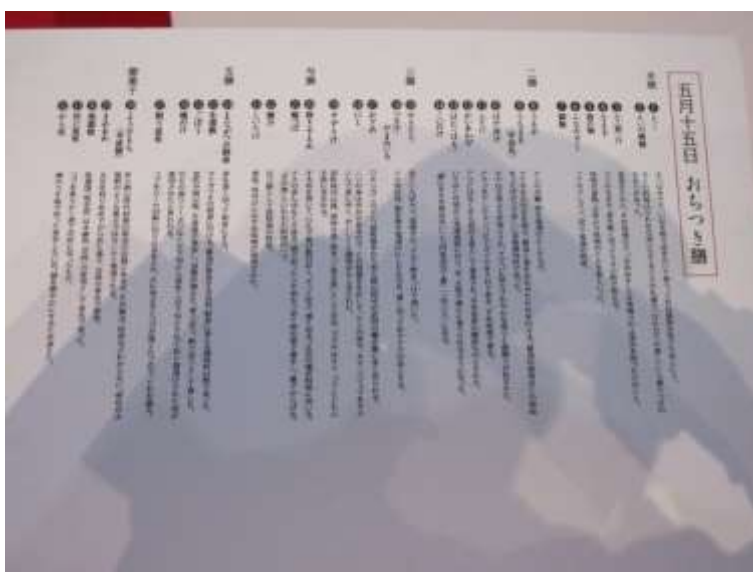
料理素材、旬、料理方法など高度な知識と技術がなければこれだけの料理は出来ない
光秀はバランス感覚がある人物で常識は心得ていたはず
しかし、信長に対し「これくらいはできるぞ」というアピールであったと私は推測する

5月15日 おちつき膳

「三鶏五魚」室町時代以降は鶏、魚を「三鶏五魚」と定めた

三鶏とは、ツル、キジ、ガンをさす

五魚とは、コイ、タイ、スズキ、カレイ、フカをさす



本膳(一の膳)

湯引きのタコ、鯛の焼き物、鮎ずし、なます、菜汁、香の物、ごはん



二の膳

うるか、アワビ、はも、うなぎの焼き物、鯉の汁、ほや冷や汁、なまこ、



三の膳

やきとり、ワタリガニ、ツル汁、ニシ、すずき汁



与の膳

巻きするめ、なす、しいたけ、鮎汁



五膳

まながつおお刺身、生姜酢、ごぼう、鴨の汁、削り節



御菓子

ようひもち、まめあめ、美酒箱、花に昆布、から花



酒



今でも食べられているものも多い

五月十五日 晩御前

夜に出された料理

昼の料理よりは質素



献立表



本膳

みつあえ(煮物三品)、こまごま(あえませ)、鮎の寿司、ひたい(干し鯛)、ごはん



二膳

串あわび、こら汁(コチのすまし汁)、奈良漬



三膳

角煮、たいのあつ物(鯛の味噌煮)、つぼ



角盛り、ふくらいり(ナマコ)、きしませにぶどう



酒



お土産物



天主5階内部障壁画



「嘉納永徳」の襖絵が8枚展示されている
こんな人形も



近くの食堂で定食を

正面の絵は安土城が描かれた金屏風

1582年は天正少年遣欧使節団がローマに向けて出航

信長は安土城が描かれた金屏風をローマ法王へのお土産で持たせた

現在どこに保管されているか分からないようだ



南蛮船の絵

安土定食を注文

真ん中は茶そばのように見えるが



滋賀名物「のっぺうどん」か

茶そばのような麺はうどんだという

小麦粉にくず粉を混ぜたうどんか

こんにゃく麺のような食感



滋賀県の名物料理

「赤こんにやく」 着色料で赤く染めたこんにやくで、生レバーのような食感

「小あゆの甘露煮」 わかさぎのように見えるが、口の形を見ればあゆ
わかさぎより身がしっかりしている

「えび大豆煮」小海老と大豆を煮たもの

帰りに寄ったスーパー(平和堂)でも上記の3品は品揃えしてあった
後で紹介します

味噌汁は、大根、人参、油揚げ、大豆の白みそ仕立て



滋賀県立考古学博物館へ向かう
途中の江戸時代の蔵



車石と逢坂(ほうさか)常夜灯

逢坂常夜灯は、1794年「大津米屋中」によって四基寄進されたもの



車石は江戸時代、大津・京都間の街道筋に敷かれた石



荷車の幅に合うように溝が刻まれている

振動をへらすためか 江戸時代は荷車の幅の規格は統一されていたことになる
電車の線路と逆の発想だ

「滋賀県立安土考古学博物館」

～歴史的な遺物を所蔵する現代の城郭～



「安土マリエート」「安土城天主 信長の館」「滋賀県立安土考古学博物館」は
まとまった場所にあるため、歩いて回れる
近くに飲食店は少ない

安土「県立歴史博物館」と「安土城跡」

2020-07-10 17:02:21

5月の消費支出(総務省 家計調査より)

- ・食料(外食、給食含む) 78,272円(前年比96.57%)
 - ・外食(給食含む) 6,547円(41.1%)
 - ・外食除く食料 71,725円(108.5%)
- * 外食を除く食料は108.5%伸びたが、食料の総支出は-2,777円
5月は食費を2777円節約したことになります
7月のスーパーマーケットの売上は前年並みに戻りつつある

滋賀県立安土城考古学博物館

滋賀県近江八幡市安土町6678

中世の城郭を模した現代的な施設で、考古学的な出土品を展示



「お城のリユース」特集

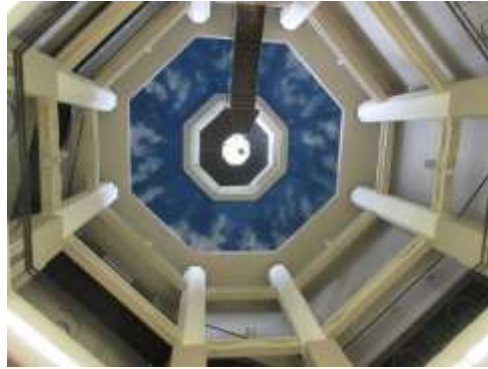
屋根のドーム

「これは兜の形ですか？」

「今のデザインです」との答えた



下から見たドーム



この地域で出土した土器や農具を展示
これはまたの機会に



安土城があった当時の地形
周りは琵琶湖の水で囲まれていた
オタマジャクシのような形
写真下が大手門

今の地形
山の頂上付近が天主
JR駅は下側



安土城のレプリカ

よく見ると入口が見える

安土駅向きの天主正面はこの角度であることが分かる



当時の大手門からの階段

両側は家臣の邸宅



大手道復元前の様子

基礎部分は残っている

発掘調査は終了した

展示物

これは電池か？



壺のようだが何に使われたか分からない

こんな道を歩き「安土城跡」に向かう

曇りの日で助かった



安土城のあった山

この辺は焼畑が行われている

振り返ると3施設

誰もが安土城復元にお金を使った方が、と思うに違いない

発掘調査が終了したためこれからだと思う



安土城跡入口



特別史跡「安土城」



大手門跡



ここで入場料を払う

パンフレット



主要分の解説

無料で杖を貸してくれる

これは借りておいた方が楽



大手道

この階段は天皇専用のもので一般人には使われなかった
天皇は輿(乗り物)に乗って登るため、この階段を歩くことはない
かなりハードな階段
城の階段は敵が攻めにくいようにできている
この階段は奥行きを広く取って歩きづらいように設計されているため疲れる



伝「羽柴秀吉邸跡」

道の反対側には、伝「前田利家邸跡」

摠見寺仮本堂

伝「徳川家康邸跡」である

臨濟宗妙心寺派

鐘は自由につくことができる



直線の階段はここで終わり、左に進む

かなり歩いた

左折すればしばらく平らな道が続く



次の階段

ここからの階段は奥行きは狭いが高さがあり股が疲れる

こうして疲れるようにできている

歩きやすい階段はない

石仏も階段の石に使われている



平らな道に出た

「織田信澄邸跡」



仏足石



古代インドではお釈迦様の足跡を表している
階段の一部に使われていたがこちらに移築

本丸の石垣

石垣が低く城の防御は弱い



こんな巨石をこの高さまで運んだ

本丸跡説明



本丸跡

ここは天皇を招き入れる場所

京都御所内の天皇に居住である「清涼殿」と類似した構造であった
建物は高床式であったという

天主跡

五層七階（地上6階地下1階）

イエズス会の宣教師ルイス・フロイスは「ヨーロッパにもあると思えないほどの壮
大さ」と褒めれば 信長は「この城を世界中に広げてほしい」と言っている

* 調子に乗って、「世界の信長」を目指していた



ここに「信長の館」があった天主

豪華な天主は3年しか存在しなかった 本能寺の変が6月2日、15日に天主消失 13日後
であった 焼失したのは天主と黒鉄門のみで、他は火災から免れた

ここは天皇の本丸より高い建物で、天皇を見下ろすようにできている

* 自分の地位の方が上と言わんばかりであった

案内



現在のグーグル地図

上に部分は琵琶湖



拡大すると鉄道の線路が見えるためこちらが出入口のある正面



奥に琵琶湖が見えるため裏側の景色

どちらから見ても天主のつくりは変わっていない

外見を意識した城で「防衛用」より「観賞用の天主」であったことが分かる



「信長公本廟」

重臣、羽柴秀吉が天正11年(1583年)1月1日 三法師(信長の孫)に年賀を表すべく登城
翌2月に信長公ゆかりの太刀、烏帽子、直垂などの遺品を埋蔵し本廟とした



内部は石を積み重ねただけで、それほど豪華ではない



織田信雄(のぶかつ)四代供養塔

織田信長に「茶筌丸(ちゃせんまる)」と名付けられた



織田4代の名前が書かれている

三重塔

1454年建立

天正3～4年に信長公が甲賀の長寿寺から移築



二王門に続く階段

この階段は歩きやすいようにできている



二王門

1571年建立 信長公が天正年間に甲賀から移築

二王門からの景色



「驕る平家は久しからず」

思いあがった振る舞いをする者は長く栄えることはなく、いずれ滅びる

「権威」と「権力」

「権威」で民を支配する者は長続きするが
「権力」で民を支配する者は必ず滅びる
「天皇」と「権力者」の関係かも知れない
安土城跡を後にして「セミナリヨ」へ向かう



途中の田んぼのあぜ道

バルブの付いた水路

滋賀の県民性なのか、街にはゴミ一つ落ちておらず、草刈りも丁寧に行われている

安土「セミナリヨ」と「平和堂」

2020-07-11 17:09:43

「安土城跡」から「セミナリヨ」に向かう

遠くに平和堂の看板が見える



橋の上で親子が何やら見ている

いい光景だ

田んぼの畔(あぜ)

ゴルフ場の芝生のような

普通は草が伸びてから刈るが、伸びないうちに芝のように刈られている



民家の花畑

どこを見てもゴミ一つ落ちておらずキレイな町だ

石垣を積んだ施設が見えてくる



「セミノリオ跡地」と書かれている

公園のように見える

1975年 カトリック大司教 白柳誠一書



セナリヨ(カトリック小神学校)史跡公園

1580年(天正八年)織田信長より教会建設用地として下賜されたオルガンチーノ神父は、高山右近などの強烈な援助を受けて、ここに三階建ての住院を完成させた

一階は茶室などがついた座敷があり、二階は神父の居室、三階は教室と生徒の寮
諸国から集まった二十数名の少年が寄宿して勉強をしていた
信長も時々訪れて少年が演奏するオルガンに聞きとれた

しかし、1582年6月信長が本能寺の変で死するや自体は一変
明智勢の侵略により廃墟と化した

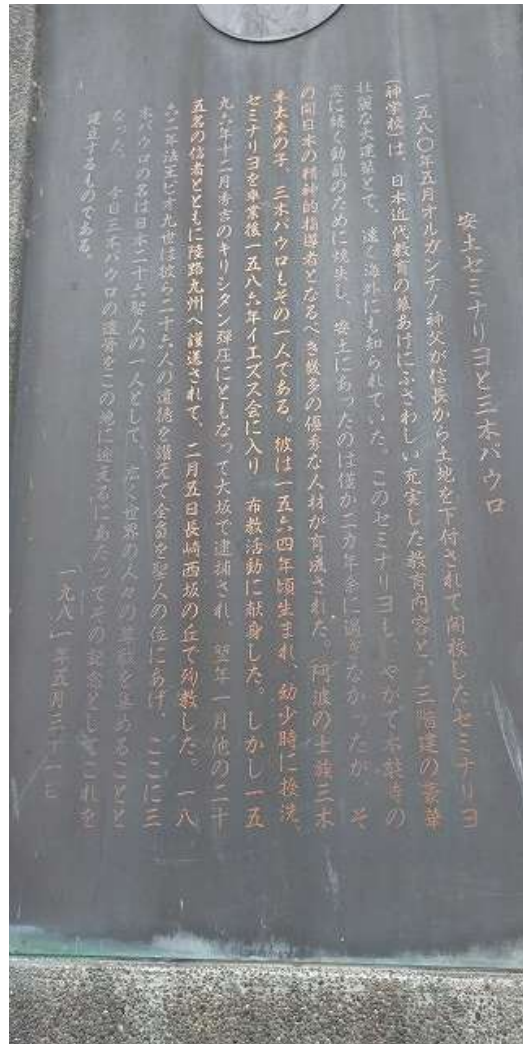
京都、高槻、大坂へと移ったが、1587年秀吉の禁止令

1614年、徳川家康の大追放令のもとでセナリヨはすべて廃校となった

*フロイスが光秀のことをよく書いていない理由が分かる



安土神学校(セナリヨ)での生活



安土のセミナリヨは遠く海外にも知れていた
 本能寺の変による動乱で、わずか二か年余に過ぎなかった
 阿波出身の氏族三木半太夫の子、三木パウロは布教活動に献身した
 1596年12月、秀吉のキリシタン弾圧により大阪で逮捕され、
 翌一月、他の二十五名の信者とともに陸路九州へ護送され、二月五日長崎西坂の丘で殉教
 1862年、法王ピオ九世は彼らを「聖人」の位に上げた
 三木パウロの遺骨をこの地に迎え記念碑を建立する

このこんもりとした盛り土は「三木パウロの墓」か
 手前は墓石？ 石の前に木を燃やした跡がある
 420年経っても、信者が行っているものだろう

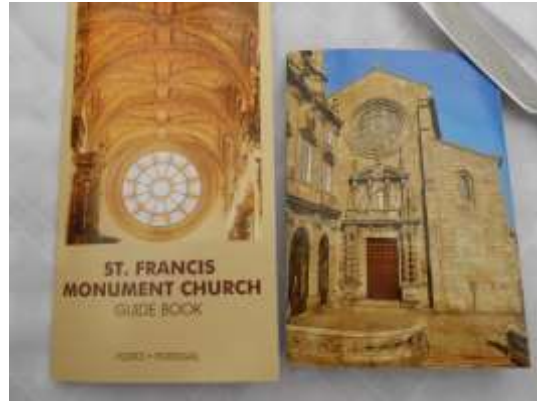


26聖人記念館(2015年7月訪問)
長崎県長崎市西坂町7-8



三木パウロは右から6番目
手を広げている像

ポルトガル ポルト「ST. FRANCIS MONUMENT CHURCH」(2019年6月訪問)



パンフレット

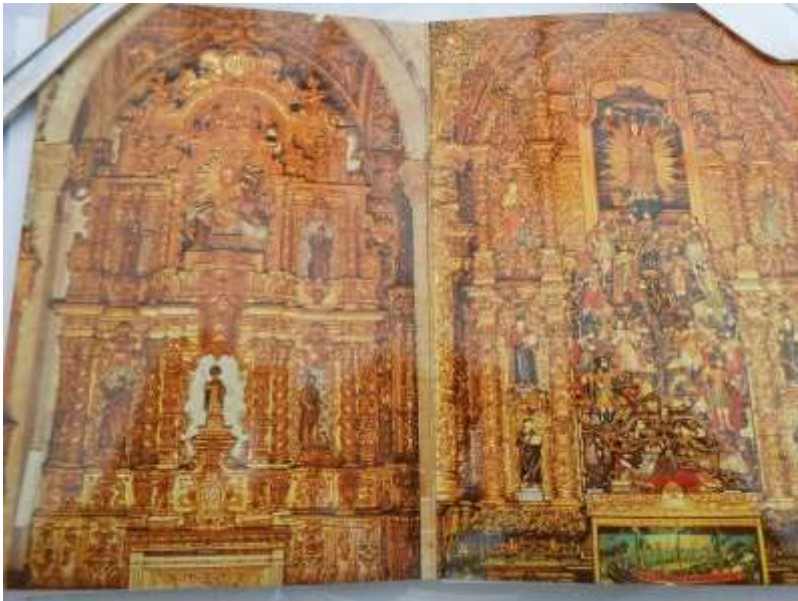
教会内は撮影禁止であるためパンフレットで紹介します

右側の下の部分が「26聖人に関する展示」

拡大して見ると東洋人らしき者の首が見える

バチカンの「サン・ピエトロ寺院」の向かって左側の柱の上を見ると番号が刻まれている

番号を確認しながら歩くと、「13」と「26」の番号が消されている



26聖人記念館の「ルイス・フロスト」の碑

1595年 長崎で「日本史」を完了させ、1597年「26聖人殉教」の記録を書き昇天



以上終わり

フレンドマート安土店

長崎屋のスーパーマーケット



平和堂の概要(ホームページより)

滋賀県彦根市西今町1番地

設立 昭和32年6月18日 店舗数154店 2020年2月20日現在

営業収益 433,641(百万円)

営業利益 10,463(百万円) 2.4%

経常利益 11,380(百万円) 2.6%

HEIWADO
平和堂は「地域社会へ貢献する」企業を目指します

店舗のご案内 | 会社紹介 | ニュースリリース | 財務・株式情報 | 環境・社会活動 | 採用情報 | 平和堂財団

会社概要

- 設立 昭和32年6月18日
- 代表者 代表取締役会長執行役員 夏原平和
代表取締役社長執行役員 平松正嗣
- 資本金 116億1437万円(2020年2月20日現在)
- 所在地 滋賀県彦根市西今町1番地
- 株式上場 東京証券取引所一部
- 業務内容 食料品・衣料品・住居関連品等の総合小売業
- 事業所 平和堂店舗 154店
(滋賀75、福井6、石川7、富山2、京都18、大阪21、兵庫3、岐阜7、愛知15)
本部、多賀流通センター、久御山流通センター
丸善・エール店舗 10店
(滋賀8、京都2)
- 主要関連

〈株〉 エール	総合小売業
〈株〉 丸善	食品小売業
〈株〉 ヤナグン	不動産賃貸業・不動産管理業
〈株〉 ファイブスター	ファミリーレストラン「ココス」経営 回転寿司「海産」経営 ファミリーダイニング「にぎわいダイニング いちおしや伝五郎」経営
〈株〉 ユーイング	アミューズメントの運営、飲食店等の経営
〈株〉 シー・オー・エム	ケンタッキーフライドチキンなどのチェーン 店経営
〈株〉 ダイレクト・ショップ	書籍・CD・DVDの販売、CD・DVDのレンタル業、フィットネス
〈株〉 ベストーン	食料品の製造・調理加工及び販売
〈株〉 ナショナルメンテナンス	ビル総合管理業務・ファシリティマネジメン ト・人材派遣業
平和堂（中国）有限公司	中国湖南省 総合小売業

 他7社

■業績 (2020年2月期) (単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	433,641	10,463	11,380	6,101
単体	374,841	9,604	10,909	8,216

(単位：%)

部門別売上高構成比	食料品	住居関連品	衣料品	その他
	76.2	10.4	8.5	4.9

PAGE TOP

「チェーンストアらしからぬ店」

チェーンストアであるため、品揃えは画一的でつまらないと思って入ったが
実際に見てみると、

地域に密着した独自性のある品揃えがなされているすばらしい店であった
久々にいい店を見た

申し訳ないが写真を掲載させていただいた



「信長の館」のレストランで食べた料理はこの店に品揃えされているのか？

生産者コーナーも充実

生産者コーナーの「鮎ずし」と「発酵飯」

「発酵飯」は、鮎ずしの「身」を細かく刻み、うま味の浸み込んだ「飯」と練り込んだ」と書かれている

食べてはいないが身体によさそうだ



鮎ずしだけでもこれだけの品揃え

「八百一」は一品だけの品揃えであった

「赤こんにやく」

赤く着色したこんにやくで、生レバーのような食感



愛媛県産「活メはも」 100g 298円

骨切りされた生のはも

これを湯引きで食べてみたかった

琵琶湖産「小あゆ(小糸漁)」 380g入 580円

「やっぱり地のもんがええなあ」のシール

この時期だけの貴重品だと思う

胴の太さ、口を見ればわかさぎとは違う



「えび豆煮」

すじえびと大豆の食べ合わせは非常に良く、琵琶湖の美味をお試ください

レストランで食べた地元料理はちゃんと品揃えされていた

「豚バラ肉ブロック」 100g 98円

豚バラ肉ブロックのカット幅が細く、角煮にならないことを私は普段から不満に思っていた

この店で初めて幅のある豚バラ肉を見た

よく料理を知っている



購入商品

「おこわいなり弁当」 298円

いなり寿司に具を載せると塩分が高くなるが、いなりの皮の味付けを薄くしてあるので喉が乾かない

おいしくいただきました



「甘酒スムージー」 ミックスフルーツ 158円

新感覚の甘酒

よく冷して飲むとおいしい

「生八つ橋 つぶあん」 198円

板状のニッキ味もあったが甘さに負けた



「10秒チャージ エネルギー」 160円

10秒で飲まなくてはというプレッシャーがある

外のベンチでいただく

飲み終わり近くの主婦に駅に行く道を聞くと

「最初の信号を右に曲がり進めば駅です」と教えてくれた

歩き出してしばらくすると、後ろから追いかけてきて「二番目の信号です」と訂正

滋賀県民は人柄もいい

まだ買いたかったが最終日であるため我慢した

安土から旅行をスタートすればよかったと反省



いい店を見させていただきました

機会があればまた訪れたい店

ありがとうございました

歩いて安土駅に向かう

イカツイ顔をしたやつがこちらを見ている

6875000円也 買えない



後ろの小さいやつが欲しい

途中のオフィスの脇に

一度通り過ぎて気になって戻り、つまんでみると「ローズマリー」であった



安土駅に戻る

駅前のそば屋



ざるそばを注文

香りあるおいしいそばだ

ネギは白ネギではなく九条ネギ



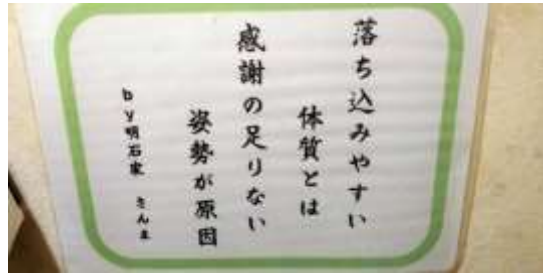
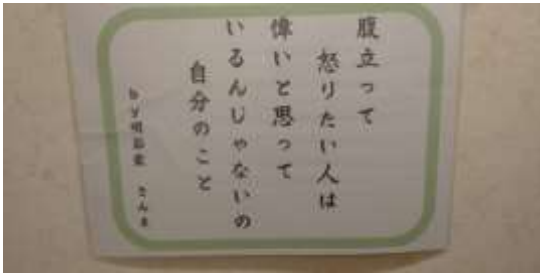
わさびをつけて

食べ方はいろいろあっていい

そば湯が濃い



トイレに貼られていた「明石家さんま」の言葉



もう一枚

駅の反対側に相撲の像



「安土と相撲」

1570年、信長は近江国中から相撲取りを集め、浄楽寺で相撲を取らせた
大相撲のルーツと言われている
信長は文化に大いに貢献した

以上、信長、光秀歴史ツアーは終わり

今考えれば

「高遠城」⇒「信玄首塚」⇒「安土城跡」⇒「福知山城」⇒「亀山城」⇒「本能寺跡」⇒「光秀首塚」 間に「山崎古戦場跡」を入れれば最高であった